



東久留米稲門会・会報

杜の西北

発行 東久留米稲門会

事務局 東京都東久留米市
下里 1-11-8
電話 0424-75-5897
http://homepage2.nifty.com/35292/



昨年、登場の 新執行部が事業多角化

文化活動 部会増設 活力十分の東久留米稲門会

高橋・新会長が抱負を語る

ヴィヴィッドに行動する稲門会。東久留米稲門会はこんな伝統を創立以来、わずかな年月の間につくった、といっても許されるだろう。活発なイベント、間断ない部会活動がひとつのお家芸ですらある。そうした活性化した組織をキープし、さらに発展させるために昨春役員陣の思い切った刷新がおこなわれた。そこで新会長の高橋勲氏に本紙編集部がインタビュー、新しい執行部の布陣、今後の展望などを質した。

——昨年、当稲門会が創立6年を迎えた時点で、安宅武一会長が高齢を理由に引退されました。

高橋会長 東久留米稲門会は平成7年4月の設立ですから、おっしゃるとおり安宅前会長は在任6年で勇退されました。設立準備会のときより安宅前会長リーダーシップのもとで当稲門会の規約や組織の骨組み、年間のスケジュール等々を作成されました。

その後、グリークラブの演奏会を成功させ、毎年の総会での講演会には、各界で活躍された著名な講師をお招きして、それぞれ大成功を収めました。これらはすべ

築かれた基礎の上に

花咲かせたい

——前会長が企画し、講師も各回、会長ご自身がお招きしたものです。

また、年4回のハガキを使った「東稲通信」は、設立当初より前会長が自ら執筆、編集し、昨年4月まで23号を発行しています。さらに部会活動も、女性サークル部会、散策山歩き部会、ゴルフ部会、俳句部会、囲碁部会、書道部会など、6つの部会が充実した実績をかさねました。東久留米稲門会の基礎は、名実ともにできあがった、といえると思います。このことは前会長の功績であり、その実績を引き継ぎ、発展させていくのが私の役目かと思っています。

——新しい執行部を編成するに当たって、なにを基本とし、な

に最も配慮されましたか。
高橋会長 役員陣の編成に当たっては、まず若返りを図ったことではないでしょうか。

原則、昭和36年卒業以降の会員を役員に起用するとの申し合わせがあり、設立以来当稲門会の活動に功績のあった諸先輩が役員をやめていくことになりました。副会長は4名全員が退任し、新たに5名が新任されました。また新役員には11名を新任することになりました。

私は会長就任とあわせて、新しい事業を立ち上げようと、いくつかの青写真を頭に描いていましたので、そ

れに沿った人事を思っていました。従来からの役員の方にも、新しい事業の適所で役割を担ってもらえるように配置を考えました。また新しく役員になってもらうよう要請した人のなかに、適任だと思いい新事業の担当をお願いもしました。私は役員の数にはこだわりません。多くの会員の方々が、この稲門会の運営に参加してもらうことがよいことだと思っています。

——安宅前会長は、創立当初から一貫して「当稲門会と政治は無縁」を基本理念のひとつとして打ち出していました。

(次頁へ)

東久留米稲門会役員

名譽会長	安高菱市長	宅橋山角護	武房英信	一勤子雄美	28年商
副会長	帆比井棚森	西藤泉河	比野田村井	房英信喜	36年法
(事務局長)	比野田村井	西藤泉河	比野田村井	房英信喜	32年文
幹事	比野田村井	西藤泉河	比野田村井	房英信喜	33年政経
	比野田村井	西藤泉河	比野田村井	房英信喜	36年法
	比野田村井	西藤泉河	比野田村井	房英信喜	37年商
	比野田村井	西藤泉河	比野田村井	房英信喜	38年理工
	比野田村井	西藤泉河	比野田村井	房英信喜	34年文
	比野田村井	西藤泉河	比野田村井	房英信喜	37年理工
	比野田村井	西藤泉河	比野田村井	房英信喜	38年政経
	比野田村井	西藤泉河	比野田村井	房英信喜	39年商
	比野田村井	西藤泉河	比野田村井	房英信喜	40年法
	比野田村井	西藤泉河	比野田村井	房英信喜	41年教育
	比野田村井	西藤泉河	比野田村井	房英信喜	42年法
	比野田村井	西藤泉河	比野田村井	房英信喜	45年社学
	比野田村井	西藤泉河	比野田村井	房英信喜	46年政経
	比野田村井	西藤泉河	比野田村井	房英信喜	50年政経
	比野田村井	西藤泉河	比野田村井	房英信喜	53年教育
	比野田村井	西藤泉河	比野田村井	房英信喜	54年文
	比野田村井	西藤泉河	比野田村井	房英信喜	57年商
	比野田村井	西藤泉河	比野田村井	房英信喜	60年教育
	比野田村井	西藤泉河	比野田村井	房英信喜	61年商
	比野田村井	西藤泉河	比野田村井	房英信喜	35年理工
	比野田村井	西藤泉河	比野田村井	房英信喜	52年教育
会計監事	比野田村井	西藤泉河	比野田村井	房英信喜	

高橋会長 そうですね。安宅

前会長が築いた当稲門会の基礎と方向を継承し発展させていくことが私の務めですから、当稲門会と政治や選挙の関係についても前会長の精神を引き継ぎます。

実際、いまだに新規に入会される会員の方から、「東久留米稲門会は政治団体であると思っていたので、いままで入会を断ってきた。入会してみると稲門会は政治とはまったく無関係であることがよく分かった」といわれることがあります。このよう

「政治とはいつさい無縁」の路線を踏襲

な誤解は平成7年の当稲門会の設立総会の日が、たまたま東

久留米市議会議員選挙の告示の日に当たっていたこと、また当稲門会の会員がその選挙に立候補したことなどによるところが大きいのではないかと、それが実

はならない」と規定されています。当稲門会の政治と選挙とはいつさい無縁ということ、前執行部からの方針であり、この方針は新執行部も厳正に継承していきま

す。——ところで、新規に多種多様な事業がスタートしまし

態と異なる噂を広げる結果になつたのではないかと考えています。当稲門会は設立当初から現在まで、そして今後も、一貫して政治と無関係です。特定の政党を支持したり、特定の候補者を推薦したり応援したりするよ

うな政治行動はいつさいいたしません。また、候補者が東久留米稲門会の名称を使用して選挙をおこなうことは内規により禁止されています。当稲門会の規約にも、

「本会の活動に、政治活動、宗

た。まずニューメディアの領域で動きがありますね。

高橋会長 私は昨年の定時総会の会長就任挨拶で、最初に手掛けたい事業としてパソコン活用による東久留米稲門会のホームページ立ち上げを宣言しました。現在はIT化時代といわれています。情報を発信し、受信するホームページや電子メールのやりとりができるインターネットの時代がやってきたのです。ホームページは当稲門会の情報を外に向かって発信していく大

切な情報の伝達手段となるので

す。部会の活動、東久留米雑学塾の講演会などの情報を発信すること、地域の人々と連携することができればと思っています。

ただ、ここでホームページを開設するに当たって考えなければならぬことは、つねに新しい情報に更新することが必要になる点です。ホームページの情報内容がいつも同じでは、だれからも見捨てられていきます。

そこで当稲門会の情報を提供する「東稲ニュース」がその役目を果たすことになるのです。

「東稲ニュース」は会員の皆様に対してのニュースを提供するメディアです。会と会員、会員

昨年の総会で会長就任の挨拶をする高橋勤氏



平成13年4月22日
東久留米稲門会第七回定時総会

と会員との広報誌です。会からの行事のお知らせ、各部会の行事や活動報告、大学の最新情報などを中心に提供します「東稲ニュース」は、ホームページの開設と合わせて発行することで、両者一体となつて相互に補充し合つて情報を発信していくのです。

また当稲門会の広報の柱となるのは機関紙「杜の西北」だということです。年1回の発行ですが「杜の西北」は東久留米市在住の早稲田大学OB約1000名の方と当稲門会会員および近隣稲門会に対しての情報提供の機関紙なのです。

——昨年度は部会の数がふえましたね。

高橋会長 当稲門会の活動で

基本となるのは部会活動です。部会の活発化、部会員の増強が当稲門会の組織の強化につながるものと思っています。当稲門会設立のときから活動を始めた6つの部会の部員も増加し、安定した活動を展開しています。昨年度は、さらに太極拳部会、グルメ部会、郷土研究部会を立ち上げました。今年もカラオケ部会、麻雀部会がスタートします。

部会の種類もふえ、活動も多様になりました。会員の皆様にも入会の選択の幅が広がったと思います。会員の皆様、どこかの部会に入会して活動していただくことをお願いいたします。——もうひとつ、注目すべきは「東久留米雑学塾」の開講があります。

高橋会長 そうです。現在は高齢化社会と相俟つて生涯学習社会といわれています。当稲門会でも「東久留米雑学塾」を開講することになりました。

この雑学塾は各方面の講師をお招きして隔月に講演会をおこなうものです。同時に当稲門会のあり余る知的財産を活用する狙いで会員のなかからも講師を務めてもらうことにしています。各講師の専門分野のお話、また一芸に秀でた方の味のあるお話などを期待しています。地域社会にも広報して多くの市民へ

の方々にもきていただき、同時に会員以外の市民講師にも講演の場を提供して、地域社会に對し文化的貢献ができればと思っています。

—新機軸としてポストマン制度を採用しましたね。

高橋会長 昨年の総会で、私は財政基盤の強化について触れました。多くの事業に取り組むことになれば、やはり財政的な裏付けが必要となります。当稲門会の年間の収支決算では余剰金が年々減少しています。支出の面から考えると、会の経費で一番支出の多い費目は通信費なのです。このことを解決することが最も急務だと思いました。そこでポストマン制度を導入したのです。当稲門会の会員の皆様に配布する郵便物はポストマンが配達しているのです。もし

ポストマンが配達にきて気が付いたら声をかけてやってください。

—大学、それに他の稲門会との連携や関係の強化についてはどのようにお考えですか。

高橋会長 大学では、ご承知のように現在創立125周年記念事業募金を展開しています。東久留米稲門会でも、この募金事業には全面的に協力していきます。当稲門会の募金への協力の方法としては、年会費に2000円を上乗せして、その2000円を募金の期間、大学に寄付していきま

会員全員で

第2のふるわびぐりを

く予定です。ホームカミングデー、オール早稲田文化週間、商議員会、代議員会等々がそれぞれです。また横の稲門会関係では、

の期間であったともいえるでしょう。今後ともさらに広範囲な、そして質の高い稲門会活動が、未加入校友や一般市民に対する情報の発信基地としての役割を果たしてゆくであろうと信じております。

バトンを引き継がれた役員の皆さんに心からの声援を送りつつ、稲門会のさらなる発展のため微力を尽くすことをお誓いして挨拶いたします。

私からもひとつ

帆角・新事務局長



昨年4月の定時総会で新しく事務局長に就任

しました。なにごとにも行き届く高橋・前事務局長の足元にもおよびませんが、皆様に支えられて、なんとか務めていきたいと考えております。部会活動、東久留米雑学塾、東稲ニュース

やホームページなどを通じて、会員の皆様の交流の場を層広げ、さらに充実することを大きな目標にして、これからも精一杯やってまいります。皆様のご支援とご協力をお願いいたします。

バトンタッチを終えて

安宅武一・名誉会長

平成7年4月16日発足以来6年の間、東久留米稲門会の会長として無事その役目を終えることができましたのは、偏に幹事の皆さん並びに熱心な会員の皆さんのご協力の賜物と深く感謝いたしております。

会員の皆さんはそれぞれ実に多様なタレントをお持ちしております。そ

れらを会員のためにご提供いただくのには、やはり時間が必要であったように思います。

最近の稲門会活動のなかで、それがものの見事に花開きつつあるのがよく分かります。その意味ではこの6年間は、インキュベーション（孵化）

成功させ大任を果たすことができたことをご報告いたします。今後とも近隣の稲門会とも交流を図り、合同で行事ができればよいことだと考えています。

—さて、最後になってしまいました。改めて新執行部が掲げる理念と、今後の運営方針を確認して締めくくりとしたいと思います。……

高橋会長 当稲門会の目的はなにか。稲門会の憲法である規約には、

「会員相互の親睦、早稲田大学及び東久留米市の発展に寄与する」とあります。

私は会の運営の最大の目的は、

母校を同じくする校友の皆様と親睦を図り交流を広めていくものだからねがね思っていました。同じ東久留米市に住み、同じ大学で学んだという共通の青年期を経た人々が、稲門会のもとに集い、第2の故郷づくりをしていくことだと思っています。当稲門会の運営については、すでにお話ししましたように、

昨年度、新規に事業としてスタートしましたホームページや東稲ニュース、東久留米雑学塾の継続、新規部会の増設、ポストマン制度の定着、以上5つの事業を中心に据えて、それらの内容をますます充実するよう努力してゆくことだと思っています。さらに今年は、東久留米地区に文化的な面で少しでも貢献する意味で、音楽演奏会などを開催できればと思っています。

会員の皆様、また広く東久留米市内の早稲田大学校友の皆様、今後とも当門会の行事に、深いご理解と御協力をお寄せくださるよう、心からお願ひしてやみません。

2001年4月の講演

平成12年春から1年間、上海復旦大学で交換研究員生活を送られた杉本達夫・早大文学部教授に、帰国直後の昨年4月、最近の中国事情についてのご講演をお願いしました。その要約を次のようにまとめてみました。

上海では、昔の孔子廟の境内に毎日曜、古書市が立ちます。早稲田の近くの穴八幡の古本祭

よりはうんと小規模で、本は革命後のものばかり。たまたま運がいいと作家、老舎の革命前の版本などが手に入ります。ある日ほしい雑誌が25冊出ていて、聞くと1冊2百円だという。全部で5千元（邦貨で7万5千元）です。懐中には8百円しかないの「この範囲で売ってくれ」というと、相手はしばらく考えてから、

「よしっ全部もつていけ！」

この話を地元の知人に話すと「8百円でも高い」ということでした。

この孔子廟あたりは古い上海のたたずまいを残していて、幅1〜2メートルの細い路地が続いています。そこで洗濯したり食べ物を買ったり。路地に向き合う建物の窓から窓へ竿を渡して洗濯物が干してあり、歩くと頭の上

から滴が落ちてきたりします。

一方、「老上海」と名づけられる豫園一帯も何百年前からの街の姿を残し、新しい建物も古い時代の様式で建てられています。そんな建物の一つの屋上庭園でお茶が飲めるところがあります。そこからは明清様式の葺屋根の波をみ、遠景には超近代的な2百メートルの高層ビルやテレビ塔を眺めることができます。

老舎は戦前から北京の庶民生活を描いて非常に著名な作家です。対日戦争時代、國共統一戦線の文芸界の中心となり、革命



古書市・老舎・内山完造 最新上海事情を語る

杉本教授の講演要旨

後は共産党政権の宣伝役として活躍します。が、文化大革命のさなか、反革命分子とされ紅衛兵の少女たちに引き出され、暴行を受け、翌日自殺します。一昨年、老舎の死についてインタビュー集が刊行されました。老舎がどのように糾弾されたか、研究者が当時の模様をさまざまな観点から聞き取りしたものです。またその直後、北京で老舎文学についてのシンポジウムが

あり、私も出席して話を聞きました。結局30数年しか経っていないのに老舎の死の実相は分りません。一つの事実を確定することがいかに難しいか、それをよく物語っていると思います。

かつて日本人が多数住んでいた地域に魯迅公園があり、そのそばに著名な文芸関係者たちを等身大の銅像に復元した文化名人街があります。そのなかに日本人の書店主、内山完造が和服で正座している像もあります。日本でも出版された本を上海の店に並べ、「代金は払えるときに払いなさい」と長い間中国人相手に信用売りをしました。

戦前多くの中国人が西欧世界の知識を日本の書籍で得ましたが、この信用売りが店の信頼を高めた一層多くの客を呼びびます。また内山は政府に追われる魯迅たちをかくまったりしています。こうして中国と内山は深い信頼関係を築き、いまでも中国人の間では大きな存在として生きています。私は上海の街を歩きながら、不幸なことも多かった日中関係史の中で日本では無名の本屋さんがいかに大きな役割を果たしたか、改めて痛感したものでした。

(文責・編集部)

特別寄稿

持つべきものは友、 稲門会なり

川俣 栄一

「逝く者はすでに水の如きか 昼夜をおかず」とか。世紀の節目、2001年は私にとつて忘れ得ぬ悔恨の年になった。

半世紀近くも苦楽を共にしたかけがえのない妻を失うという現実には遭遇したからである。99年秋ごろから病状思わしからず、いつの日か近い将来にはとかねて予想できたはずなのに、いざ現実となるとそれはきわめてショックなことであった。

周囲の憐憫が耐え難い心情から自家撞着に陥り、冷静な判断もままならぬ状況にあったと思われる。こんなとき稲門会書道部の皆さん、とくに船尾和三兄からは、心温まるご支援と激励をいただいた。

妻が召された6月8日の夜、私からの訃報に船尾兄は急遽夜道を病院に駆けつけてくれ、私とともに妻の無言の帰宅に同行してくださった。そのあと船尾兄は、栃木から急ぎ上京した両実家の親戚とともに夜を徹しての打ち合わせ、しばしの仮睡のちも早々にやってきた葬儀屋との祭壇設定の調整、通夜、告別式の進め方、必要な方々への

連絡など慌ただしい手続きの一連の流れのなかで手際いい采配をふるってくださった。

お通夜および告別式には、船尾兄の行き届いた配慮のなか、公私ともにご多忙中にもかかわらず高橋会長、武藤書道部会長、栄田先生はじめ書道部会員多数の皆様のご会葬をいただき、丁重なご香料とご厚志を頂戴した。また桑田兄には全般的な会計事務を、菱山さん、土屋さん、河村さんには雨のなかの受付をしていただいた。心から厚く御礼申し上げます。

会葬後も、ともすれば意気消沈する私の気配を憂えて、船尾兄は約2ヶ月の間、2、3日ごとに夕食をともにしてくれ、いくどかは宿泊までして、さりげなく激励してくださった。

このように稲門会の皆様には惜別の情をいまだ断ち切れぬ私に生きる力を与えていただいた。これからは出来得る限りの供養と、自らの「美しい老い」をめざして生きてゆきたいものと願っています。このたびは本当にありがとうございました。



卒業直前、クラスメートと三浦海岸で（左端が安次峰氏）

炊、外食の繰り返しで、自分勝手過ぎて楽しかった反面、いまのような「フリーター天国」はないので、数少ない求人の中から、それも当然の安い職種に就くしかなく、情けなく苦しいことも多かった。

1年生のとき

私

が入学した1966年（昭和41年）学費値上げ

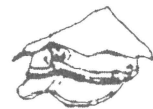
の阻止闘争などで学園封鎖がつづき、その影響で登校日が1カ月ほど延びたように記憶している。また、そのころは野球の強い時期であり、荒川（のちにヤクルトに入団）、矢沢（同、中日に入団）が同期にいて、巨人に入った小坂投手は同じクラスであった。

学生生活で印象に残っているのは、たがたび見舞われた「飢餓」のことである。私の場合、授業料だけは郷里から送ってもらっていたが、そのほかはアルバイトに頼っていた。牛乳配達をはじめ、時計の展示販売の手伝い、製本会社など数カ月ずつ仕事を転々としていた。下宿は、まず野方、2年目からは田無に移った。家賃が安いからである。自炊、外食の繰り返しで、自分勝手過ぎて楽しかった反面、いまのような「フリーター天国」はないので、数少ない求人の中から、それも当然の安い職種に就くしかなく、情けなく苦しいことも多かった。

わが早稲田時代

10円のキャベツで3日間 —長い飢えとの闘争記—

安次峰 暁



の夏休みは帰省しなかった。その長い休みの終わりのころ、所持金が底をつき10円玉1個だけとなった。アルバイト料が入るまでまだ4日もある。定期券があるので交通費はいらないが、食費がない。質草らしいものもないので質屋の暖簾もくぐれない。米もなく、わずかにあるのは味噌と醤油、それに塩。夏休み中なので友達は帰省している。

や

むなく自分の城である3畳間を探し回り、本をめぐって、ひよつとして100円札でも出てこないかと必至になつてみたが、所詮は徒労だった。仕方なしに、なけなしの10円玉をしっかりと握りしめ、近くのスーパーに行ってみた。インスタントラーメンが20円、菓子パンもたしか20円ぐらいだったと思う。

ということ、10円で買えるものがない。弱っているとキャベツが目に入った。特大のやつが、特売で10円とある。選択の

余地はなく、それを買って帰り、それから3日間というものの、みそ汁に入れたり、炒めたり、生で齧ったり、なんとか凌ぐことができた。

ただし、これでは体に力が入るはずはないし、本を読んでも食べ物が頭を去来して集中できないのだ。アルバイトにいくとき、学校の前を通りながら食堂をのぞくと、テーブルの上に飯をほとんど残したまま立ち去る学生を見かけた。それが、かりに友人であったなら、入っていつて、冗談めかし、

「おいっ、すこし寄せ」

といって、飢えを癒すことができると、恨めしく思ったものだ。

それから数カ月後、製本工場でアルバイト中、本を束ねる機械で右目を強打してしまった。眼球にヒビが入って、「即、入院」ということになった。相変わらず、財政状況は逼迫しているときだった。眼のことはたしかに気にはなったが、これで何日かは「食」の心配をすることなしに過ごせると、妙に嬉しくなったのも事実である。

私の学生生活の大半は、かくして「食」との戦いの連続であった気がする。

（昭和45杜学）

清文堂印刷所

東久留米市滝山五十一一四
電話 〇四二四七四 一七八七

小回りの利く
スピーディな「街の印刷店」

本社 中央区京橋2-9-12 日本工業館7F
連絡事務所 東久留米市下里1-11-8
0424-7511897

有限会社 ハーモ企画

損害保険・生命保険代理店



うつのみ たら
た川

東久留米市金山町1-7-6
0424-74-4561

アコルテ自慢の
コーヒー・紅茶

喫茶室
ACCORDER

東久留米市東本町13-6(2F)
0424-73-4496

☆文具・事務器☆

ギンドー

東久留米駅北口

TEL (0424) 71-0310
FAX (0424) 73-3355

注目の文化事業が始動

雑談でおおいに結構、建前抜きの本音で一般市民が講師をつとめる雑学講座が全国的な広がりをみせています。こんなところにヒントを得て、当稲門会は

講師：坂本信太郎氏

（早稲田大学名誉教授・当稲門会顧問）

日時：平成13年10月7日

平成14年2月4日

一般市民にも開放

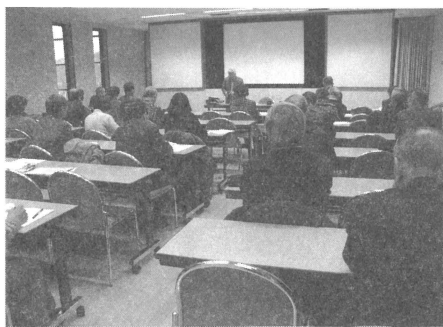
東久留米雑学塾

知人を誘って

気楽に参加、気楽に話を聞き、さらに気楽に質問できる雑学講座『東久留米雑学塾』を昨年10月開講しました。すでに今年2月までに3回の講座を開いています。

◆第1回と第3回講座

演題：「川柳から見る江戸の庶民」



坂本名誉教授による講義（今年2月3日）

文化の日、ホームページを開設

世界中のコンピューターが結ばれ多くの人々が「電子メール」と同様、「ホームページ」を利用する電子化時代となりました。当稲門会でも昨年11月3日、文化の日にホームページを公開しました。今後、より魅力のあるホームページへ発展させるためには、つねに生氣を与え続ける必要があります。皆様のご理解とご協力が不可欠となります。そのため、

- ◆より多くの皆様からの記事、写真情報などが提供され、ご意見が寄せられること
 - ◆より多くの皆様がホームページに親しんでいただくこと
 - ◆ホームページを多くの友人、知人、家族に紹介して下さるよう（世界のどこからでもみることができます）お願いします
- ホームページの住所（URL）は、
<http://homepage2.nifty.com/35292/>

（松崎 博）



ホームページの表紙
実物はカラーで製作

演題：「私のまぼろしのオリンピック」

講師：馬場清彦氏

（早稲田大学体育局元講師・当稲門会会員）

日時：平成13年12月2日

ヘルシンキオリンピック

で体操の代表選手に選ばれた馬場氏が、当時の外貨事情により参加を断念させられたことを中心に自分の競技人生を淡々と語られた。

これからも原則として2カ月に1回の開催予定で準備をすすめています。「東稲ニュース」

メディアは3系統

「東稲ニュース」創刊

高橋新会長の発案で、隔月刊の「東稲ニュース」を昨年9月創刊しました。以来、今春までに4号の発行をかさねています。

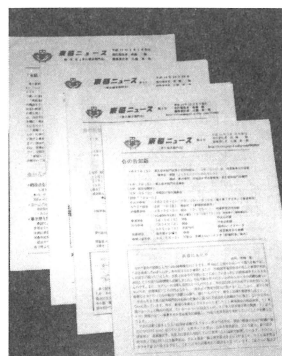
「東稲ニュース」は当稲門会の会員向け情報誌で、もともとは安宅前会長が編集していた

「東稲通信」の後身紙です。当稲門会には、これとは別に市内在住の早稲田OB全員に年1回配布する「杜の西北」があり、

や会員向けチラシ、また一般市民には市報「ひがしくるめ」の「市民伝言板」欄で次回講座の

開講をお知らせします。一度お出掛けください。

（帆角信美）



さらに昨秋開設のホームページもあつて、3系統のメディアが情報発信することになりました。

「東稲ニュース」の内容は主に会の行事関連、各部会の活動状況、会員の随想、当稲門会主催の「東久留米雑学塾」の講演録（要約）などで構成されます。

A4判、6ページの素朴な手づくり機関誌ながらリアルタイムのニュース性を重視するのが編集方針、会員周辺の身近な情報も織り込み、全員参加の紙面づくりをモットーにしています。どうぞ内輪の、肩の凝らない情報やエピソードなどをお寄せください。発行日は偶数月の10日、原稿の締切りは前月（奇数月）の25日です。紙幅に制限があり全文を掲載できない場合、後続号にまわす場合もあるかと思ひます。あらかじめご了承ください。

（比護喜一郎）

グルメ部会

話も弾む味の探求

昨年10月27日第1回グルメの会を催しました。参加者は16名。西武新宿線小平駅から迎えのマイクロバスで15分、玉川上水のほとりの雑木林に囲まれた閑静な料亭「いろりの里」へ。水車と清流と苔に包まれた庭園でお薄をいただいてから眺望のすばらしい座敷に移動。

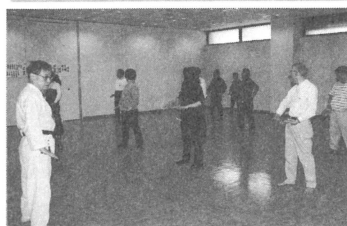
本番はミニ懐石・遊山。小平

もに十分堪能できる料理でした。昼酒のまわりも心地よく、会話も弾み、所定の2時間はあっという間に過ぎてしまいました。第2回グルメの会は2月23日(土)午後1時から西東京市の「季彩すず木」で手打ちそばを楽しみました。会費4500円、参加16名でした。

(神田尚計)

太極拳部会

1日10分で生涯健康



当部会は昨年9月発足以来、成美教育文化会館を主会場として毎月、隔週土曜日の午前10時から、みんなで和気藹々と演舞しています。

現代のキーワードは「幸せな健康・癒し・安らぎ」といわれ、

特産ブルーベリーのリキユールからはじまり、松茸の香の漂う土瓶蒸しなどかなりの品数。質量と

人が幸福に生きる基本である健康は自分の心でつくるものといわれています。当部会の揚名時太極拳は「一日十分で一生健康」をモットーに、呼吸法を中心としつつゆっくりとした動きで新鮮な酸素を体内に吸収させ(調息)、無念無想で精神の集中と脳の活性化を図り(調心)、さらに内臓の働きを刺激して体内の血液の流れをよくする(調身)という健康法です。演舞するとおのずから気が充満して生き生き感じられる不思議な健康法です。いつでも自由に見学、参加できます。

(船尾和三)

カラオケ部会

今春、初代会



「いろりの里」のグルメ部会

昨年7月にできた部会ですが、

3月1日(金)午後6時から3時間、東久留米駅近くのスナックバー「緒慕路」の一角を借り切って初代会を開きました。みなほろ酔い気分好きな歌を気持ちよく歌って楽しいひとときを過ごしました。去りがたい人は、その後も店内に残り、さらに歌いつづけたようです。当面は2ヶ月に1回、この形式でカラオケ部会を開催する予定です。

(帆角信美)

麻雀部会

家族参加も歓迎

会員ばかりか、ご家族の参加もいただき、年数回の麻雀大会を開催します。

開場の確保、部会の運営など部会員諸氏のご意見や情報提供を得て発展させたいものです。ご協力をお願いいたします。

(竹山信保)

郷土研究部会

レポートも発表

「早稲田錬成道場」Ⅱ左掲の写真Ⅱは昭和16年滝山小学校付近に戦時下の学徒の心身鍛練を目的として開設され、1週5日の日程で農作業や講義が行われた、といわれています。

当部会ではこのような市内の

歴史、文化財、伝承行事などを研究、紹介するとともに史跡、文化財めぐりを企画しています。ご意見、ご参加をお待ちしています。



(高橋哲男)

写真は東久留米市教委著『光の交響詩』から

早稲田の

近況・僅況

◆司法試験管理委員会が昨年11月発表した平成13年度の司法試験合格者は、総数990名(うち女性223名)。出身大学別にみると1位が東大で206名。2位は早大の187名。3位が慶大の100名。以下4位から10位までは、京大90名、中央大76名、一橋36名、阪大34名、明大27名、上智19名、同志社17名となっている。早大は前年比47名増。他大学を圧倒する急伸びだった。◆昨秋、松下電器グループと提携した早大インターナショナルは「早稲田講義録」の現代版、海外の講師による遠隔講座を開講。まず中国の師範大学教授が漢方療法の講義をおこない注目を集めた。◆先端技術を駆使した映像教育をおこなう早稲田芸術専門学校が来春、埼玉県川口市のNHKラジオ放送所跡地に開校する。映画の製作やプロデュースなど映像ジャンルでの人材養成に当たる。◆早大は近く法科大学院のほか、国際経営学、公共経営学、金融経済学など4系列の専門大学院を設置、また学部では所沢市にある人間科学部を改組してスポーツ科学部に、また新たに外国語と海外知識を重点教育する国際教養学部を新設する。◆大学院のアジア太平洋研究科が中心となり、早大がシンガポールに進出する。早ければ2003年の開校。

新らたに五つの部会がスタート

既設の部会もますます快調

とかく時期尚早とか、稚拙な書を披露するにはいささか心もとないなどの杞憂が部会内外から聞こえるなか、思い切って念願の作品展を昨年12月、市立中央図書館で開催しました。

書道部会

作品展に初挑戦

ところが実際に作品を展示してみますと日頃の練習の成果が見事に発揮され、主テーマである「白楽天の詩」(楷書)は重厚にして沈着、「李白の詩」(行書)は軽妙にして含蓄、まさに書の神髄を衝いたかのごと

く一点一点の作品が燦々と輝き、有志による自由課題作品も奔放にして飛動の美、自由にして奇趣横溢、来客の方々から身に余る高い評価を頂戴しました。思えば4年足らずのキャリア、それに平均年齢64歳ということも併せて考えますと、やはりよくできた作品であったと思います。「やればできる。やる気があれば書ける」とつくづく感嘆しました。今後はこの作品展を飛躍台として運筆と表現のバリエーションを古典から学ぶことが大事だと思います。さらに「和敬寛柔」、つまり心をなごませ、くつろぎのできる部会として、その人的財産をより大切にする

ことが重要ではないかと考えます。

最後にになりましたが、ご来駕、ご高覧いただいた方々に厚く御礼申し上げます。(武藤豊)

●当部会では毎月第2日曜日、中央公民館で練習会。入会は随時可能。楷書、行書、草書、仮名、手紙文などのお手本が部員に渡され武藤部会長が一人ひとりに添削指導をおこないます。



作品展には多数の市民も来場した

散策山歩き部会

メニューふやして…

春と秋の年2回おこなっている歩く会も、回をかさねることに世話人自身、体力の衰えを感じる昨今です。

今年の歩く会は、体力に応じ平坦なコースの散策と汗を流しながら登るハイキングコースの2本立てで、参加者のご希望にできるだけ沿うようメニューを増やして楽しい会にしたいと思っております。

(川上昇一)

女性サークル部会

安宅前会長と親しく歓談

女性サークルでは5月12日、8名が水戸徳川家の庭園、後楽園を見学。都心の、ひっそりと静寂な名園をそぞろ歩き、初代、2代藩主の洗練された唐趣味を堪能しました。



世界遺産「ボンベイ展」を見学(江戸東京博物館・中庭で)

した。

12月8日はアコルデでの食事会に7名参加。安宅前会長(現名誉会長)をお招きして歓談しました。当稲門会創設以来、私どもを暖かく育ててくださった前会長へ心からの感謝の気持ちです。本当にご苦労さまでございました。(大川洋子)

近況・僅況

◆会員編

この欄は、会員の皆さんがそれぞれ過去1年間の活動を「短信」の形でご報告し合う「小さな、小さな広場」です。

今回は、昨年夏と今年1月にお寄せいただいたものを中心に、順不同に掲載いたしました。

◆テレビのニュース番組の制作をつづけています。Videoの制作もやっています。日比野利彦(昭55政経) ◆1昨年は1月の早実初等部の初めての入試を控え、9月の施設見学会、10月の願書受付等々、心配なことが多く不安な日々を過ごしました。大矢真弘(昭54文) ◆健康で元気でおります。目下、現役中で頑張っております。目下、今後ともよろしく。鈴木文雄(昭17高工建築) ◆土曜日、武蔵小金井で幼児教育をしています。216歳、幼稚園や小学校の入試をめざす子供たちとの接触、皆とても可愛いです。石寺美弥子(昭53文) ◆甜菜糖メーカーの社長をやっていますが、いずこも同様に景気低迷の煽りを受け、しんどい日々が続いています。高柳康夫(昭33商) ◆月刊誌の責任者として仕事に追われ、東久留米になかなか帰れないのが残念です。この辺りにも切れ切れに緑がないわけではないの、

俳句部会

句会は年8回

吟行は春と秋

昨年度は8回の句会を開催。

うち2回は、春・国分寺跡周辺吟行と、秋・木曽路、妻籠・馬籠の1泊バスツアー吟行でした。毎回15名前後が参加し、自然や人と向き合い、自分らしさを表現してきました。

全山の若葉映して川悠々

坂本信太郎（名誉教授）

川びえの筑にはじけて春の風

杉本達夫（文学部教授）

天平の礎石に座して春の夢

大久保泰司（昭30法）

声明のひびきし寺や著我の花

河村洋子（昭41教）

一村をひと跨ぎして虹の立つ

比護喜一郎（昭37商）

大人びし浴衣の娘遠会釈

馬場清彦（昭28法）

影もなく分校跡地蟬しぐれ

三田畔果（三、昭33政経）

木曾は秋馬子の姿は見当たらず

松田博雄（昭28政経）

行く秋や屋根に石置く妻籠宿

太田千雪（蔵之助、昭23商）

柿落ちし宿のはずれのたたずまい

竹山順子（信保夫人）

ゴルフ部会

「上手な人も

あまり

上手でない人も」

当部会では発足直後から年2回、春秋にゴルフコンペを開いています。毎回16人から20人前後の参加者があり、上手な人もあ



まり上手でない人も、また女性も、なんの気兼ねもなく和気藹々とプレーを楽しんでいます。プレ

星月夜白猫の影一閃す

神田尚計（昭32政経）

北風に老いのきざしや足さばき

棚野愛子（昭34文）

実南天朽ちた宿に色をそえ

高橋貞真（貞一、昭26法）

またぎ宿釣果も入れしきりたんぼ

橘 雅契（正治、昭29文）

枝落し小さき庭や実は千両

橘 俊治（昭41商）

2002年句会日程

①2月24日(日) ②3月31日(日)
花見吟行／狭山市・稲荷山公園
③5月26日(日) ④7月21日(日)
⑤8月25日(日) ⑥10月6日(日)
所沢キャンパス周辺吟行 ⑦11月17日(日) ⑧忘年句会 ▽通常句会
は中央公民館で開催予定で、13時30分から16時30分。

1終了後の打ち上げ会もスコアにとらわれることもなく、おいしいお酒を飲み、おいしい料理を食べながらほろ酔い気分です。楽しく語り合っています。

開催日は土日、祭日を選べた日を選び、プレー代、表彰費用、パーティ費用を含めて1人当たり2万円ほどです。むよう心掛け

(太田晴之助)

囲碁部会

オール早稲田祭に

参加

当部会は囲碁愛好者の集まりです。現在、部会員は16名。棋力は7段から初心者まで幅広く分布されています。

月1会の例会（第4日曜日の午後）では自由対局が主流ですが、特別招聘の日本棋院普及指導員（校友）による指導碁も受けられます。また年1回の合宿では囲碁大会を開催し、日頃の研鑽の成果を競います。



5回の合宿を数え、地酒を酌み交わしながらその土地の特別料理を賞味するのも欠かせない楽しみの一つです。

対外活動では昨年、第1回首都圏オール早稲田囲碁祭に参加。また東村山稲門会囲碁部との親善試合などおこない交流の輪を広げました。

(辰巳徳蔵)

ですが、野鳥も少なく、東久留米市のよさを感じています。八木香緒里Ⅱさいたま市在住（平成3教）

◆約20年のブランクののち教職に復帰して、この3月で10年が経ちます。学校にいるときは年齢を忘れて頑張っているのですが、こちらの方も頑張ろうと思っています。長瀬邦子（昭37教）

◆春、また節目の年を迎えます。還暦は北アルプス白馬岳登頂を果たし今夏涸沢岳を目指そうと思っています。これは北穂を経験した娘の計画です。富士山には3度登りましたが岩場のアルプス、容易ではないでしょう。娘のいわく、「今から筋トレに励め」と。体力作り、また晩学と心得て、成し遂げるつもりです。橘正治（昭29文）

◆昨年12月通訳案内業国家試験にラッキーにも合格し、今年から英語通訳ガイドとして働きます。地獄の新人研修が待っています。山岡恭子（昭53教育）

◆電通大学師範（週2回）、東久留米剣連（週1回）、東久留米志道館（週1回）、全剣連合同稽古（月1回）、西東京連合同稽古（月1回）その他ウォーキング、温泉、アルコール少々。お蔭さまで高齢でも元氣です。剣道8段—興梠次房（昭29法）

田築大作氏（昭55商）

平成13年8月28日

■会員一同、謹んで

哀悼の意を表します



近代文学に造詣深い

榎本名誉教授が講演

4月21日、成美会館で

平成14年度 事業計画(案)

- 一、部会の増設と活動の充実
 - ☆新しい部会の設立
 - ☆各部会の活動強化
 - ☆アウトドア活動の企画実行、全会員への呼びかけ
- 二、広報のオープン。活性化
 - ☆ホームページの有効活用
 - ☆「東稲ニュース」が会と会員間の情報共有の強化
 - ☆「杜の西北」の増頁
- 三、講演会による文化貢献
 - ☆雑学塾へ市民参加の促進
 - ☆講演録の要約公開
- 四、大学との連携強化
 - ☆125周年募金への協力
 - ☆大学行事への積極参加

平成13年度 事業報告

「行事」

- ▼1・20新年宴会。成美会館。参加51名。▼4・22第7回定時総会、初代会長安宅武氏退任、新会長に高橋勤氏就任。来賓、会員出席者数71名。杉本達夫文学部教授を講師に講演会▼役員会。2・4・6・8・10・12月の年6回開会。▼9・8納涼懇親会、成美会館、参加44名▼10・7東久留米雑学塾第1回講演会。12・2東久留米雑学塾第2回講演会。
- 【広報】
 - ▼会報「杜の西北」第7号3・18発行▼「会員名簿」7・2発送。「東稲ニュース」9・1創刊。第2号10・25発行、第3号12・5発行▼ホームページ11・3開設。
 - 【サークル活動】
 - ▼女性サークル部会。隔月集会5・12後菜園庭園見学会、参加8名。

当稲門会主催による毎年4月の講演会は、今年、早大名誉教授

榎本隆司先生に講師をお願いしました。演題は「よしなしごとーいのちひとつ」です。

先生は夢も希望もないままに、しかし生き続ける庶民を凝視した作品を得意とした自然主義派の作家、徳田秋声を中心にわが国近代文学全般に造詣の深い方で、当稲門会の顧問。

講演会の会場は、東久留米市

- 10・16江戸東京博物館「ボンベイ」展見学会、参加8名。▼ゴルフ部会。7・3第13回コンペ、参加12名久邇C.C. 11・6第14回コンペ、参加14名廣済堂G.C.▼散策山歩き部会。5月天覧山ハイキング雨天中止。11・18御岳大塚山ハイキング、参加19名。▼俳句部会。年8回句会。9・17、18・1泊吟行会、信州木曾路、参加15名。▼囲碁部会。毎月碁会。9・30日本棋院にて早稲田囲碁祭りに参加。10・13、14囲碁合宿、「マホロバ・マリンス」三浦。▼書道部会。毎月書道教室。8・29、30夏期合宿「富岳荘」、参加18名。12・14・16作品展、中央図書館。
- ▼大極拳部会。9・1第1回部会開催、以後、毎月2回土曜日例会。会員数32名▼ゲ

支出の部		収入の部	
科目	金額	科目	金額
総会費	341,247	総会収入	287,000
通信費	161,795	(58名×5,000)	
印刷費	62,520	年会費	468,000
消耗品費	49,255	(156名×3,000)	
会議費	8,860	祝金	35,000
交際費	55,000	校友会補助金	104,000
部会補助金	65,000	広告収入	15,000
「杜の西北」印刷費	147,000	利息	85
ホームページ	10,000	雑収入	182,765
イベント		前期繰越金	137,536
補助金	18,850		
弔慰金	15,750		
寄付金(大学)	30,315		
積立金	100,000		
繰越金	163,792		
合計	1,229,384	合計	1,229,384

別途積立金残高 200,142

ルメ部会。10・27第1回会食会、小平市上水本町「いろいろの里」、参加18名。▼郷土研究部会。郷土史等のレポート発表。

【大学・近隣稲門会関係】

☆8・25三多摩稲門連合会(主管幹事として主催)所沢・掬水亭。☆10・13三多摩稲門連合大会(主管幹事として主催)早稲田大学ガーデnhaus。☆西東京稲門会、清瀬稲門会、東村山稲門会、小平稲門会の4稲門会の総会に出席。

東本町の成美教育文化会館1階・ギャラリ。日時は4月21日午後2時から。一般市民の方々の来場を歓迎します。入場無料。

講演後、当稲門会の第8回定時総会を開きます。

事務局だより

◆昨年9月、旧「東稲通信」の志を継ぎ「東稲ニュース」が装いを変

えて刊行され、また11月にはホームページも開設されました。随筆その他、皆様からの投稿をお待ちしています。事務局あてにお送りください。

◆昨年10月に開講した雑学塾の講師を募集しています。仕事の世界、文化活動の世界、体育活動の世界、趣味の世界、得難い体験談など、なんでも結構です。自薦、他薦を問いません。事務局にご連絡ください。

勝村建設株式会社

副社長 市川英雄 (昭和33政経)

弁護士 泉信吾 (昭和40法)

(自宅)東久留米市滝山四の二の一〇
電話 〇四(一四七五)一四七七

ポケットパーク

▼「光陰矢の如し」あれもこれももしなければ、思うだけで実行が難しい。今、大事なことは時間の管理。テレビを消す生活をしよう(棚野)▼ホームページの編成を若干変更しました。変更のポイント①各部会の活動の活性化に対応し、それぞれの部会を独立ページとした②各部会の活動の状況や予定、部会長方針を一括表示し、状況把握の容易化を図った③2点です。どうかご高覧の上、ご意見をいただきたく(松崎)▼いつも稲門会では先輩の方々のパワーに驚き、圧倒されています。皆さんの元氣はどこから湧いてくるのでしょうか?今は40代、50代の人達のほうが家のローンや子供の教育、リストラなど様々な問題を抱え、しよぶられているようです。私も新しい仕事を始めるにあたり、パワーダウンを感じ、めげている今日この頃ですが、先輩方を見習わなくちゃーと思います(山岡)

「杜の西北」第8号

2002年3月 発行

発行人・高橋 勲

編集人・國米家三

編集委員・大川洋子 河村洋子

棚野愛子 比護喜一郎 菱山房子

松崎 博 山岡恭子

題字・武藤 豊

事務局長・帆角信美 75・5897

印刷所・清文堂 74・1787